



ひがし

伊達市立東小学校
令和3年12月21日
第10号



冬休みこそ「早寝・早起き・朝ごはん！」

学校長 管澤 秀信

2学期、コロナ禍での東小学校スタイルの運動会、学習発表会ではありましたが、来校保護者の検温消毒及び人数制限に係る受付業務、駐車場誘導等と、「チーム東小」のP常任委員の皆様が中心となり、地域や保護者の皆様で創り上げたコロナウイルス感染症としっかり向き合った東小スタイル（運動会・学習発表会）でしたし、子ども達一人一人の心に思い出に残る2学期が終了し、楽しみにしている冬休みが始まります。夏休みでも冬休みでも一番願うことは、「事故がない楽しい休みを過ごしてほしい」ということです。何と言ってもそれが第一です。

さて、『早寝・早起き・朝ごはん』これまでも何度も学校だより等で触れてきておりますが、今年度よりWeb回答形式に移行し回答いただきました、保護者アンケート項目の「子どもは、早寝・早起き・朝ごはんの習慣が身についていますか」の回答結果は、

- ①あてはまる（大変よい） 35,4%
- ②おおむねあてはまる（良い） 46,8%
- ③どちらとも言えない（普通） 11,3%
- ④あまりあてはまらない（あまり良くない） 4,9%

⑤あてはまらない（良くない） 1,4% という結果を得ました。詳しい分析は後日お知らせしますが、保護者の皆様の意識が確実に定着されていることに感謝申し上げます。しかし、子どもが大人になっても大切な「生活習慣」ですので、100%の定着を目指して、冬休みこそ、より一層の家庭との連携を強化していきませんか！ ご協力お願い致します。

子ども達の成長や教育に関わる私達にとって、子どもの個性や可能性を少しでも多く伸ばし、引き出していくことが大きな役割です。そして、その基盤となるのが生活習慣です。「早寝」「早起き」「朝ごはん」の3つをしっかり身につけさせ、実行できるようにするだけ

でも生活の仕方全般が良い方向に変わっていくはずですし、物事への取り組み方も違ってきます。そして、ものごとへの取組のスタート段階がレベルアップしますし、大人として生きていくために必要なことです。

冬休みは生活リズムが乱れがちです。大晦日等特別な日を過ごす中で、いつもより遅くまで起きていて経験すること、させたいこともあるでしょう。でも、だからこそ、それ以外の日をいつも以上に生活リズムに気をつけたり、生活リズムの大切さを考えたりする機会にもできますので、保護者の皆様に意識していただければと思います。



黄金在住の板林様から手話を習いました！

「冬休み中でも Stay alert！」

17日（金）現在、北海道では新型コロナウイルス感染者は12人、胆振管内は11日連続で感染者0という状況です。しかし、感染予防が専門のお医者様は、「社会における人々の接触機会の増加や、感染対策の緩みが生まれることで、これまでより顕著に新型コロナウイルス感染症の流行が拡大するリスクがある。」重篤化のリスク上昇の可能性も示唆されておりました。

コロナ禍による予断を許さない状況がまだ続いています。子ども達の大切な命を守る取組に関しては、「だめなことは、絶対にだめ！」という意識を持たせ、しっかり実行できるようにすることが大切なことです。これまでも何回もお願いしてきましたが、「地域の子どもは、地域で守り育てる」取組の具現化に向けて、「油断せず、気を抜かず」屋内・屋外にかかわらず基本的な感染対策の徹底について、保護者の皆様、地域の皆様の一層のご理解とご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、2学期も様々な場面で保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力、ご支援をいただきありがとうございました。心から感謝とお礼を申し上げ、2学期終了のお礼とご挨拶とさせていただきます。どうぞよいお年をお迎え下さい。



縄跳び記録会

11月24日、25日に縄跳び記録会を行いました。学級や個人の目標に向けて練習し、技能や体力向上の成果を発揮する機会として、子ども達は記録会に臨みました。跳び方は八の字跳び、各クラス2チーム編成で2分間に跳んだ回数を合わせて学級の記録としていきます。

子ども達は、体育の授業や休み時間などに練習を重ねてきました。記録会当日に新記録が生まれた学級もあれば、惜しくも目標に届かなかった学級など、結果はいろいろでしたが、一つの目標に向かって学級で取り組んだことで、体力だけでなく、友達のよさや協力の大切さ、喜びや悔しさなども感じた記録会でした。



いじめ調査の結果報告

11月に今年度2回目のいじめアンケートを実施しました。アンケートで「いやな思いをしたことがある」と答えた児童は53名いました。「嫌なこと」の内容は「からかいや悪口」「仲間はずれや無視」などが多く、各担任が聞き取りをし、関係児童への指導も行いました。その中で心理的な圧迫が続いた1件をいじめと認知しました。

学校では、生活の様々な場面や各教科の学習を通して、いじめは絶対に許されないことであると指導しています。トラブルがあったときは子どもの話をよく聞き、子ども自身が周囲の人の気持ちを考えたり、自分の言動をふり返ったりできるようにしています。自分の気持ちを言葉で表現するのが苦手な子どももいるので、どう伝えればよかったかを一緒に考えることもあります。

コロナ感染症のために制限のある生活が続く中、子ども達の変化を見逃さないよう3学期も努めていきます。

ご家庭においても、お子様のことで気になること、心配なこと等がありましたら、冬休み期間も含め、学校(23-2738)にご連絡ください。

中学校 6年生乗り入れ授業

14日、中学校から2名の先生が来て、6年生で授業を行いました。例年であれば、6年生が伊達中学校に行き、授業を体験したり、校内外の生活や部活動について教えてもらったりするのですが、人数が多く感染対策の観点から、今年度は小学校に中学校の先生が来て授業体験を行う形となりました。1組は「外国語」、2組は「理科」の授業を体験しました。

子ども達の感想を一部紹介します。

- ・中学校授業は難しいのかなと思っていたけれども、わかりやすくおもしろかった。
- ・中学校の印象が変わって楽しみになった。
- ・すごくわかりやすい授業だった。でも、やっぱり中学校は不安もある。
- ・実験もいろいろ、楽しい雰囲気、中学校で勉強するのが楽しみ。
- ・いつもと違う内容で新しく知ることができたし、中学校の先生はやさしくて面白かった。
- ・あと数か月したら今回のような授業を受けられることは楽しみ。

↓6-1外国語



6-2理科↑



ご協力ありがとうございます

保護者アンケートへの回答ありがとうございました。結果については後日お知らせいたします。

また、お迎え時に玄関前まで来てくださり、感謝いたします。路上駐車も見られなくなりました。子ども達の安全確保のため、今後もご理解ご協力をお願いいたします。

学校は12月29日(水)~1月4日(火)まで閉庁となります。その間の緊急連絡は下記へお願いします。

080-8832-6340

5日以降は通常通り、学校へお願いします。